

体育科学習指導案

令和〇年〇月〇日 第〇校時
〇〇小学校 〇年 〇組 〇〇名
指導者 〇〇 〇〇

1 単元名 (例) 「体づくりの運動遊び」、「マット運動」、「サッカー」

2 単元について

(1) 教材観 ※教材の特性、学習指導要領の教科等目標や学年の目標、年間指導計画等との関連 など

(2) 児童観 ※児童の学習経験や実態、予想される児童の学習活動 など

(3) 指導観 ※教材観や児童観を踏まえた上での指導のポイントや工夫 など

3 単元の目標 ※単元の目標は「～することができるようにする。」の文末表現で記述する。

(1) ……【知識及び技能(体づくり運動系は運動)】

(2) ……【思考力、判断力、表現力等】

(3) ……【学びに向かう力、人間性等】

4 単元の評価規準 ※評価規準の項目数は、必ずしもこのとおりではない。

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| ①【知識について】 ※文末は「～について、言ったり書いたりしている。」 ※低学年は、文末を「～について、言ったり実際に動いたりしている。」としてもよい。 | ① ② ※文末は「～している。」 (例) 「選んでいる。」 「伝えている。」など | ① ② ③ ④ ⑤ ※文末は「～しようとしている。」 健康・安全の文末は「～している。」 |
| ②【技能について】 ※文末は「～できる。」 | | |

5 指導と評価の計画(7時間) (例) 第4学年 マット運動

・時間数、学習活動等に応じて、枠を加工して作成する。 ・帯でとっている□の中も、自分の授業に合わせて作成する。

| 時 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | |
|--------------------------------|---|--|--|---|-------------|-------------|---------|-------------|
| 学 習 活 動 | 0 オリエンテーション 1 挨拶 | 1 準備 2 挨拶 3 準備運動、主運動につながる運動 | | | | | | |
| | 2 単元の見通しをもつ ・単元の目標と学習の進め方を知る。 ・学習のきまりを知る。 | 4 本時のめあてを確認する | | | | | | |
| | 3 場や器械・器具の準備をする | 5 マット運動の自己のできる技に取り組む ・基本的な技の行い方を知る。 【回転系グループ】 ・前転 ・易しい場での開脚前転 ・後転 ・開脚後転 【回転系倒立回転グループ】 ・補助倒立ブリッジ ・側方倒立回転 【巧技系倒立グループ】 ・壁倒立 ・頭倒立 | 5 マット運動の自己のできる技を繰り返したり組み合わせたりする ・技を繰り返したり組み合わせたりする行い方を知る。 ・自己の能力に適した技を選び、技を繰り返したり組み合わせたりする。 ・課題の解決のために考えたことを伝える。 | | | | | |
| | 4 準備運動、主運動につながる運動をする | 6 マット運動の新しい技に挑戦する ・基本的な技の行い方を知る。 【回転系はね起きグループ】 ・首はね起き ・自己の能力に適した練習の場を選んで行う。 ・気付いたことや考えたことを友達と伝え合う。 | 6 マット運動の自己の能力に適した技に挑戦する ・自己の能力に適した課題を解決するための活動を選んで、もう少しでできそうな技に挑戦する。 ・基本的な技に十分取り組んだ上で、それらの発展技にも取り組む。 ・課題の解決のために考えたことを伝える。 | | | | | |
| 15 5 基本的な技をする | 7 本時を振り返り、次時へ の見通しをもつ 8 片付け 9 挨拶 | | | | | | | |
| 30 6 本時を振り返り、次時 への見通しをもつ | 7 単元の振り返り 8 片付け 9 挨拶 | | | | | | | |
| 45 7 片付け 8 挨拶 | | | | | | | | |
| 評 価 の 重 点 | 知識・技能 | | ① 観察・カード | | | | ② 観察 | |
| | 思考・判断・表現 | | | | ① 観察・カード | ② 観察・カード | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | ⑤ 観察 | ③ 観察 | | ② 観察・カード | ④ 観察・カード | | ① 観察・カード |

【参考】 ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 国立教育政策研究所
・小学校体育(運動領域)指導の手引 楽しく身に付く体育の授業 スポーツ庁

6 本時 (/ 時)

(1) 目標 ※本時の具体的目標を書く。文末は「～できる。」

「単元の目標」「学習活動における具体の評価規準」との整合性を図る。

(2) 展開

| 時間 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 学習活動における 具体の評価規準 | 評価方法 |
|----|---------------------|--|--|---------------|
| 5 | 1 ※児童の活動 「～する。」等 | ○ ※教師が特に配慮する点や手立て について記入する。 ※資料・教具などの活用に関する 注意点などを記入する。 | ○ ※「おおむね満足 できる」状況 (B)を国立教育 政策研究所参考 資料「内容のま とまりごとの評価 規準(例)」から 導き出し、具体的 に記述する。 ※「本時の目標」 「単元の評価規 準」との整合性 を図る。 | 観察 振り返りカード |
| 5 | 2 | ○ 「～伝える。」 「～支援する。」 「～称賛する。」等 | | |
| 15 | 3 | ○ | | |
| 15 | 4 | ○ | | |
| 5 | 5 | ○ | | |

(3) 評価及び指導の例

| | |
|-------------------------------------|---|
| 「十分満足できる」と 判断される状況 | ・※「おおむね満足できる」状況(B)を実現した児童が、更に質的な高まりや深まりをもって いる姿(A)を具体的に想定して記述する。 |
| 「おおむね満足できる」 状況を実現するための 具体的な指導 | ・※指導の手立てを、具体的に想定して記述する。 |